本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	〒550 大阪市西区千代崎3－2－35	☎大　阪 06 (568)3200
南部支社	〒590 堺市住吉橋町2－2－19	☎　堺　0722(38)1131
北部支社	〒569 高槻市藤の里町38－6	☎高　槻 0726(71)0361
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2－3－17	☎河　内 0729(62)1131
兵庫支社	〒650 神戸市中央区東川崎町1－8－2	☎神　戸 078(360)3100
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町356	☎京　都 075(231)8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2－4－1	☎奈　良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1－5	☎和歌山 0734(31)2491
兵庫西支社	〒670 姫路市神屋町4－6	☎姫　路 0792(85)2221
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6－57	☎豊　岡 0796(23)2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒堀680－1	☎草　津 0775(62)5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12－11	☎彦　根 0749(22)3131
長浜営業所	〒526 長浜市南呉服町3－4	☎長　浜 0749(62)7171
本社ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市中央区平野町4－1－2	☎大　阪 06 (202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

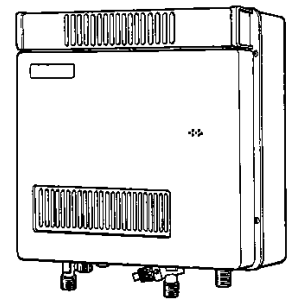
ガスくさいときは、ガスの元栓を閉め、夜中でもすぐ、お近くの大阪ガスにご連絡下さい。

5100639000

ガス湯沸器・セントラルタイプ

33-641型/642型/643型

型式名　OUR-16PS/OUR-16PS-T/OUR-16PS-CF



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス湯沸器・セントラルタイプをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

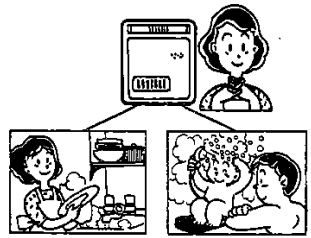
もくじ

●特徴・機能のご紹介…… 1
●必ずお守りください…… 2
●各部のなまえと扱いかた…… 6
●初めてお使いいただくときに…… 9
●使用方法…… 10
●凍結予防のしかた…… 14
●点検・お手入れ…… 16
●故障かな?と思ったら…… 17
●寸法図…… 19
●仕様…… 20
●保管とアフターサービス…… 21

特徴・機能のご紹介

●給湯能力は16号

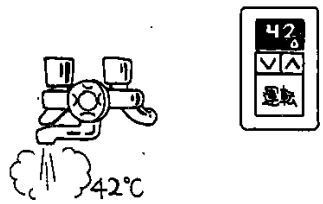
能力は16号。
家中でたっぷりのお湯が使えます。



(33-843型は13号能力です。)

●コントローラ使用でお好きな湯温

コントローラの操作で湯温をお好みの温度に設定できます。



(35℃、38℃~46℃、48℃ 60℃、約70℃で出湯)

●マイコンが安定したお湯をコントロール

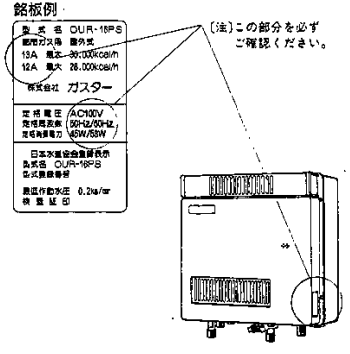
電子式ガス比例制御方式を採用。マイコンが16号~3.7号相当まで無段階にガス能力を制御します。使うお湯の量や水量が変わっても安定した湯温が得られます。
(33-843型は13号~3.7号相当)

必ずお守りください

●ガスの種類を確かめてください。

●機器に貼付してある銘板に表示されているガス（ガスグループ）以外のガスでは使わないでください。
●銘板に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使わないでください。

銘板例



（例：都市ガス13A・12Aの場合）

●本器の用途について

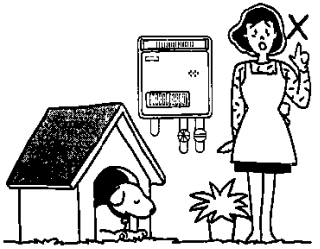
●給湯およびふろ以外には使わないでください。
●しばらく使わなかったとき、はじめに出てくる水は飲まないようにしてください。
●本体はソーラー対応できません。

●補助用具について

●この機器の付属品・純正部品以外は使わないでください。（不完全燃焼の原因となります。）
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使わないでください。

●使用場所について

●排気口から排気ガスが出ますので、近くに危険物、植木、ペット、その他加熱されて困るものは置かないでください。

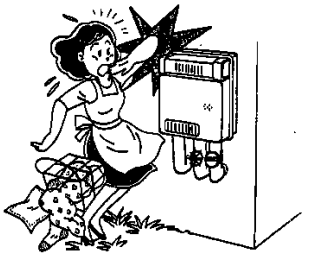


●長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は必ずガス栓・給水栓をしめ、電源プラグをコンセントから抜いてさらに機器の水抜きを行ってください。
●水抜き方法については、P.14「凍結予防のしかた」に従ってください。

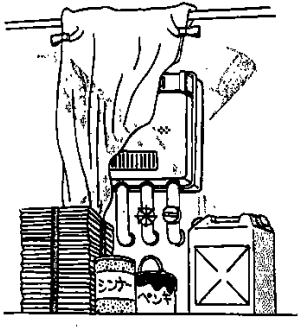
●やけどのご注意

●使用中および消火直後は、排気口が高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。



●火災予防について

●機器の上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。排気口は洗たく物やビニールなどでふさがないでください。



●日常の点検・お手入れ

●日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
●詳しくはP.16「点検・お手入れ」をご覧ください。

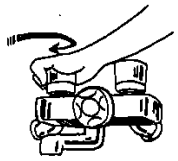
●ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめてガス栓をしめ、お求めの販売店か最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。
●係員が処置するまでは、マッチやライター等を使ったり、電源プラグの抜き差しや電気器具の「入」「切」は絶対にしないでください。

●異常時の処置

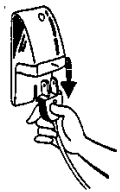
●万一、異常と思われるとき（使用中に異常音のするとき）は下図の処置をし、お求めの販売店か大阪ガス支社へ連絡してください。

1．給湯栓をしめる。



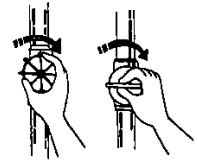
お湯の使用場所

2．電源プラグをコンセントからはずす。



機器付近

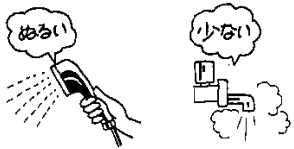
3．給水栓・ガス栓をしめる。



機器の下部

●給湯についてのご注意

●給湯栓をしぼりすぎるとお湯が極端にあつくなったり、出なくなったりします。そのようなときは給湯栓をもっとあけてください。
●しばらく使用しなかったあと、あるいは出湯を止めてすぐ再出湯したときは湯温が安定するまで多少時間がかかります。(一瞬、あついお湯が出ることがありますのでご注意ください。)
●シャワーをご使用の場合は手で湯温を確かめてからご使用ください。



●停電のとき

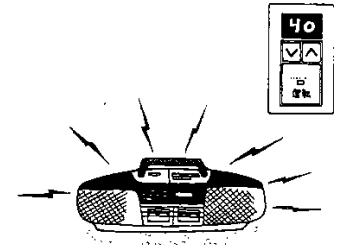
●停電中はご使用になれません。再通電してから運転の操作をしてください。

●コントローラ使用の際のご注意

●コントローラは子どもがいたずらしないようにご注意ください。
●コントローラには故意に水をかけないでください。
●コントローラは絶対に分解しないでください。故障の原因になります。

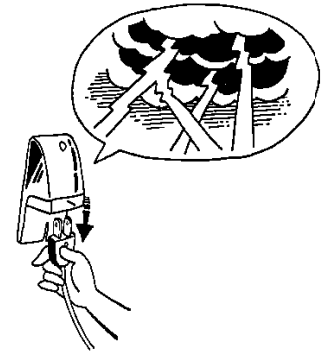
●コントローラの近くでラジオを使用するとき

●ラジオの音声が乱れる時があります。このような時には、コントローラおよびリモコン線から１m以上離してください。



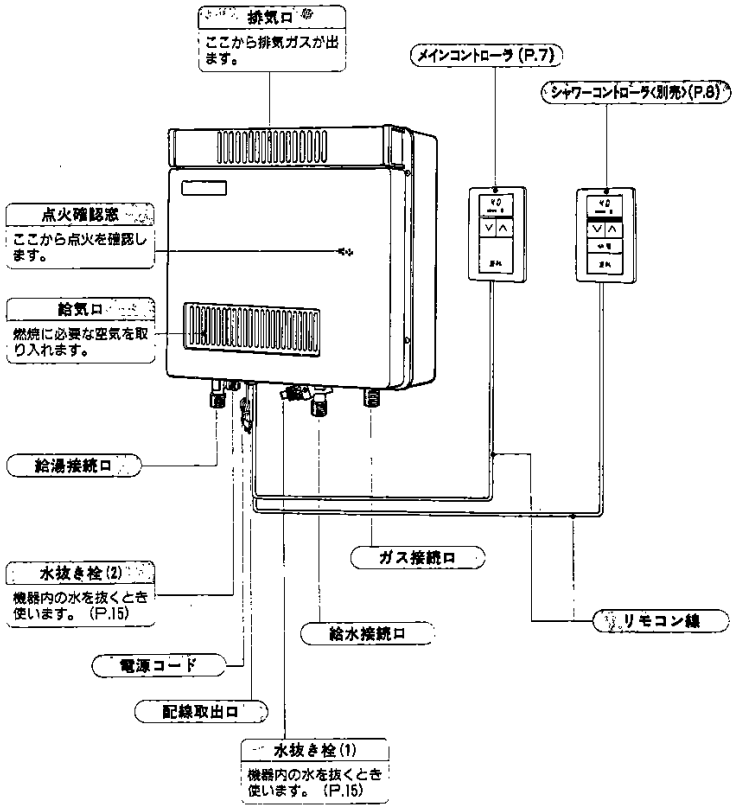
●雷のとき

●激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜きますと損傷を防止できます。



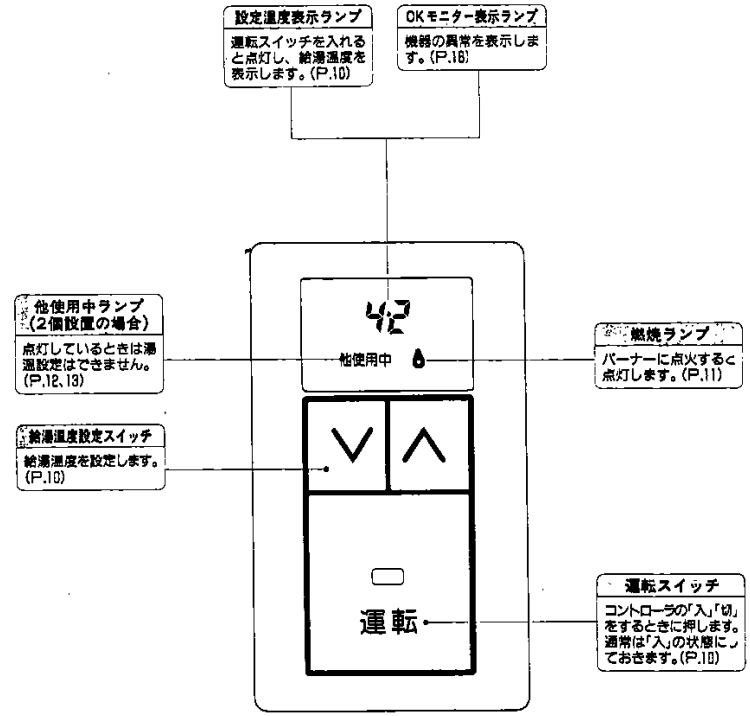
各部のなまえと扱いかた

機器本体



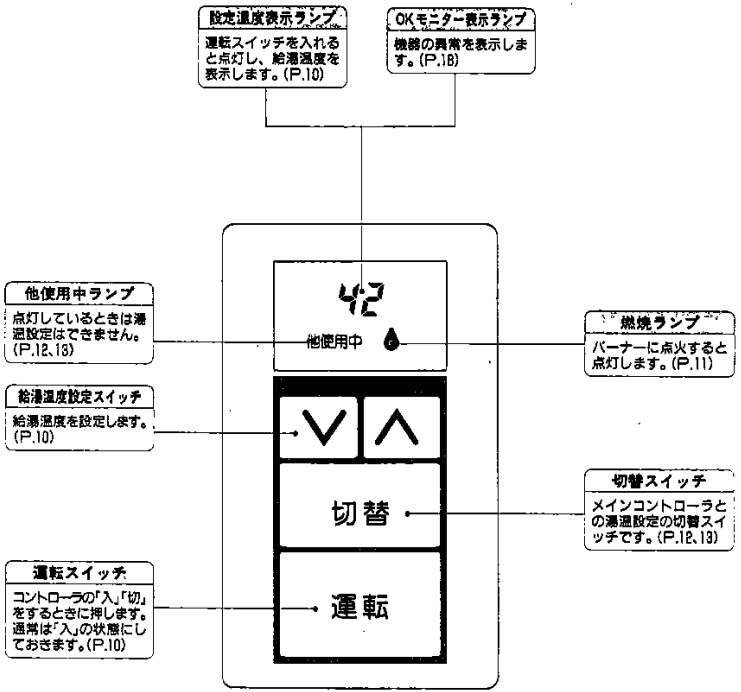
メインコントローラ

●メインコントローラでお湯の温度を設定します。



シャワーコントローラ〈別売〉

●シャワーコントローラを取り付ければ2ヶ所でお湯の温度を設定することができます。

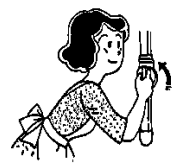


初めてお使いいただくときに…

●操作前の準備と確認

1 給水栓を全開にします。

2 ガス栓を全開にします。



3 給湯栓をあけ、水の出ることを確認してからしめます。

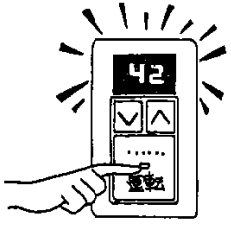
4 電源プラグをコンセントに差し込みます。
（ブレーカーをいれます。）

使用方法

●お湯の出し方(メインコントローラだけで使う場合)

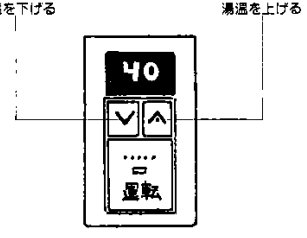
1 『運転スイッチ』を押します。

●『設定温度表示ランプ』が点灯します。



2 温度を調節します。

●『給湯温度設定スイッチ』で行います。
△を押すと温度が高くなり、▽を押すと低くなります。
湯温は36℃、38～46℃、48℃、60℃、HI(約70℃)に設定できます。

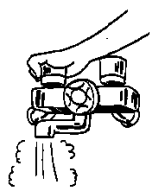


ご注意

①給湯温度表示の数字は実際の出湯温度と多少異なりますので、湯温設定の目安としてください。
②『運転スイッチ』を切って再び入れたとき、湯温はスイッチを切る前の温度となります。
③はじめてお使いになる場合や一度電源プラグを抜いたあと、再び運転操作をしたときの湯温は42℃に設定されています。

3 給湯栓をあけます。

●『燃焼ランプ』が点灯し、お湯がでます。

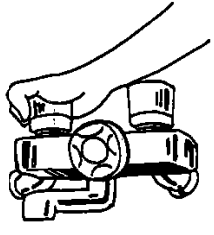


ご注意

①シャワーをご使用の場合は手で湯温を確かめてからご使用ください。
(一瞬あついお湯が出ることがありますのでご注意ください。)
②お湯側をしぼりすぎると運転が停止し、お湯が出なくなることがありますが、再び栓をあければ正常に運転し、お湯が出ます。

4 給湯栓をしめます。

●『燃焼ランプ』が消えます。『運転スイッチ』はそのままにしておきます。次回使うときは給湯栓の『あけ』『しめ』だけでお湯が使えます。
外出など、長時間お湯を使わない場合は、『運転スイッチ』を切ってください。

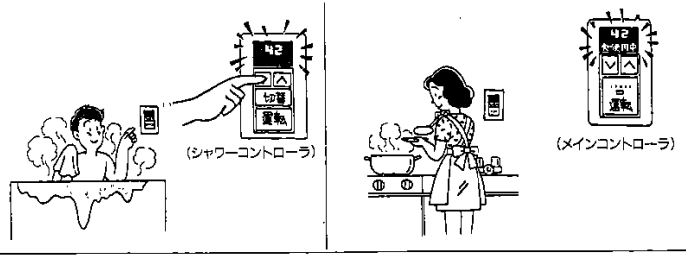


シャワーコントローラ(別売)と2個使う場合

●シャワーコントローラで操作したいとき

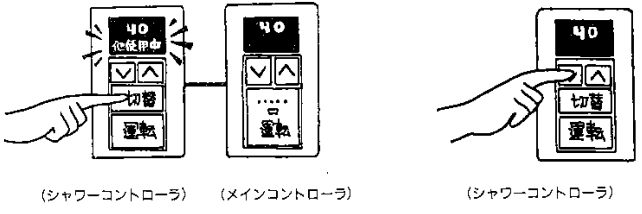
1 シャワーコントローラの「他使用中ランプ」が点灯していないときは そのままシャワーコントローラで湯温調節ができます。

●コントローラの操作方法はメインコントローラだけで使用する場合と同じです。



2 シャワーコントローラの『他使用中ランプ』が点灯しているとき

①『切替スイッチ』を押します。　　②湯温調節ができます。

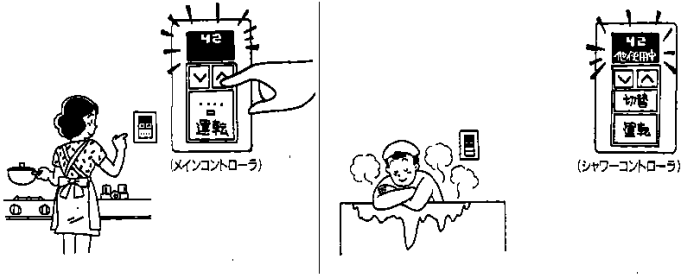


●コントローラの操作方法はメインコントローラだけで使用する場合と同じです。

●メインコントローラで操作したいとき

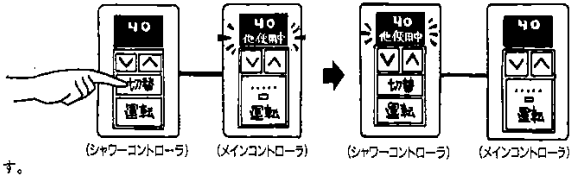
1 メインコントローラの『他使用中ランプ』が点灯していないときは そのままメインコントローラで湯温調節ができます。

●コントローラの操作方法はメインコントローラだけで使用する場合と同じです。

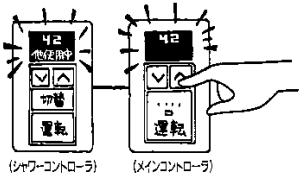


2 メインコントローラの『他使用中ランプ』が点灯しているとき

①シャワーコントローラの『切替スイッチ』を押します。



②湯温調節ができます。



●コントローラの操作方法はメインコントローラだけで使用する場合と同じです。

凍結予防のしかた

冬期、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のため機器や配管が破損することがあります。破損した場合、高額の修理費用がかかる場合があります(有料)。設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれのある時は、次の方法で予防処置を行ってください。

●凍結予防ヒーターによる方法

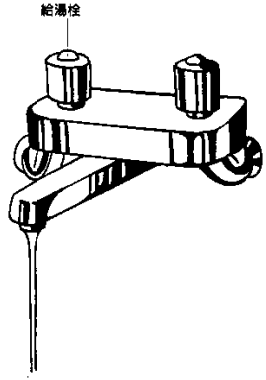
この機器には、気温がさがってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターが組み込まれています。

- ●「運転スイッチ」の「入」「切」には関係なく作動します。
- ●電源プラグを抜くと作動しません。電源プラグは絶対に抜かないでください。

●停電のときの凍結予防は

給湯栓から水を流して予防します。

1. ガス栓をしめます。
2. 浴室の給湯栓をあけ、少量（ただし特に寒い日は多め）の水を浴そうに流し込んでください。
3. 流量が不安定なことがありますので、約30分後にもう一度流量を確認してください。

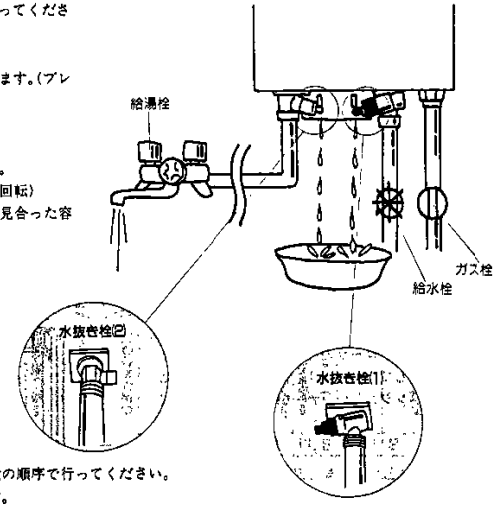


●長期間家をあけるため、やむなく電源を切るときの凍結予防は…

●機器内の水抜きをして予防します。次の順序で必ず行ってください。

1. コントローラの運転スイッチを切ってください。
2. ガス栓をしめます。
3. 電源プラグをコンセントから抜きます。(ブレーカーを切ります。)
4. 給水栓をしっかりしめます。
5. すべての給湯栓を全開にします。
6. 水抜き栓(2)をゆるめてはずします。
7. 水抜き栓(1)をゆるめます。(2～3回転)

※排水量は約700ccですから、これに見合った容器を用意してください。



●水抜き後再び使用するときは、次の順序で行ってください。

1. 水抜き栓(1)、(2)を元通りにします。
2. 給水栓を全開にし、給湯栓からの水の出ることを確認してから給湯栓をしめます。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。(ブレーカーを入れます。)
4. ガス栓を全開にして、点火・給湯の操作を行います。

※給水操作をしても水が出ない場合は、電源プラグをコンセントに差し込んだまま20分ほどお待ちください。

ご注意

①上記の方法では、給湯配管やバルブ類の凍結予防はできません。
凍結予防のため、配管には必ず保温材を巻いてください。
②冷え込みの厳しい地域では、「水道凍結防止器」等を配管およびバルブ類に巻いて十分な保温をしてください。
③万一凍結した場合は、水漏れがないことを確認してからご使用ください。
④凍結して水が出ない状態で使用しますと、危険な場合があります。

点検・お手入れ

●日常の点検

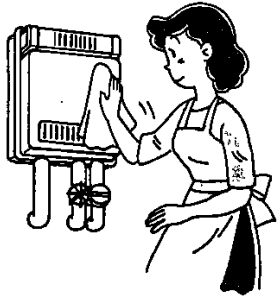
●機器や配管から、水もれ、ガスの臭気はありませんか。
●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
●機器のまわりに燃えやすいものはありませんか。
●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、時々内部のフィルター(金網)を掃除してください。

●定期点検のおすすめ

安心してより長くご使用いただくために、年に一度の安全点検をおすすめします。
お求めの販売店か、最寄りの大阪ガス支社へご連絡ください。

●日常のお手入れ

機器やコントローラの汚れは、やわらかい布を水にぬらしてかたく絞り、軽くふきとってください。ベンジン、シンナーなど使わないでください。



ご注意
●お手入れの前には、必ず給水栓とガス栓をしめ、機器が冷えてから行ってください。
●機器は絶対に分解しないでください。

故障かな?と思ったら

故障かな? と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

こんなとき(現象) ＼ お調べいただくこと(原因)	ガス栓の開き不十分	ガスが残り少ない、または無い	ガス配管内に空気が残っている(ヒロガスの場合)	ガス圧が適切でない	給水栓の開き不十分	水圧が適切でない	断水ではありませんか	水フィルターのつまり	給湯栓の絞り不十分	給湯栓の開き不十分	凍結している	給排気口のつまり	電源プラグが抜けている(ブレーカーが入っていない)	運転スイッチを押しましたか	停電している	安全装置の作動	使用ガスと銘板が不一致	コントローラの設定温度表示が低くなっていませんか	コントローラの設定温度表示が高くなっていませんか
点火しない(給湯栓をあけてもお湯がでない)	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
使用中に消火する	○	○		○	○	○		○		○					○	○	○		
異常な音をたてて燃える				○								○					○		
高温の湯が出ない	○	○		○					○									○	
低温の湯が出ない					○														○
湯量の調節ができない					○	○		○											
運転スイッチを押しても設定温度表示ランプが点灯しない													○	○	○	○			
処理方法	ガス栓を全開にする	販売店に連絡する(ボンベを新しく替える)	点火操作を繰り返す	※	給水栓を全開にする	※	断水が終るまで待つ	※	給湯栓を絞る	給湯栓を開く	解凍まで使用を中止	※	しばらく(ブレーカーを入れる)電源プラグをコンセントに差す	運転スイッチを押す	通電するまで待つ	※	※	温度を低くするコントローラの設定	温度を高くするコントローラの設定
参照ページ	9	—	—	—	9	—	—	—	—	9,11	14	—	9	10	5	—	2	2	10	10

※印の場合は使用を中止して、大阪ガスにご連絡ください。

●このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社へご連絡ください。
●修理は絶対にお客さまご自身でなさらないでください。不完全な処置は事故のもとになります。

●こんな場合は異常ではありません。

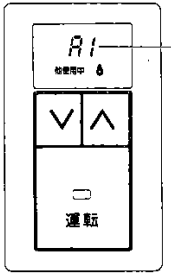
現象	理由と処置
給湯栓を開いてもすぐお湯が出ない。	機器から給湯栓までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでに、少し時間がかかります。
給湯栓をしめても、しばらく音がしている。	再使用時の点火をより早くするため、運転停止後約5分間は燃焼ファンを回転させています。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	温度差による水蒸気が発生するためで異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱すると気泡となってあらわれるためで異常ではありません。

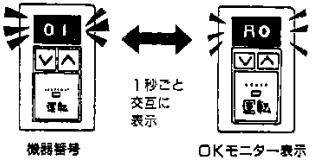
●OKモニター表示

●コントローラにはOKモニター表示機能(故障診断機能)があります。
●コントローラの設定温度表示部に故障箇所と機器番号(01)が1秒ごとに交互に表示されます。
●修理を依頼されるときは表示番号をお知らせください。

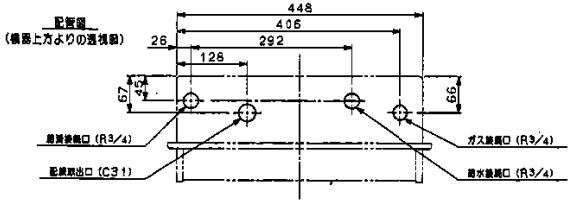
表示	故障箇所	対処
AA	炎の立消え炎検出系統の不具合	ガスメーターの安全装置(マイコンメーター)が作動していませんか。もしそうでない場合は修理依頼してください。
AO	運転モード切替スイッチ位置の不具合	修理依頼
A1	給水温度センサー系統の不具合	コントローラの運転スイッチを一度切り、もう一度入れてから操作してください。それでもエラー表示がでるときは、修理依頼してください。
A2	給湯温度センサー系統の不具合	
A4	炎検出系統の不具合	
A5	ファン回転系統の不具合	
A6	炎(燃焼)検出系統の不具合	ガス栓が全開になっていますか。なっていないときは、ガス栓を開き、コントローラの運転スイッチを一度切り、もう一度入れて給湯栓を開けてください。 OKモニター表示がでなければ大丈夫です。
A7	沸とう防止装置の作動または不具合	混合水栓の給水側をいっぱいに開いて給湯側をしぼっていませんか。そのときはコントローラの運転スイッチを一度切り、もう一度入れて給湯栓を開けてください。 OKモニター表示が出なければ大丈夫です。
A9	コントローラ回路の不具合	修理依頼

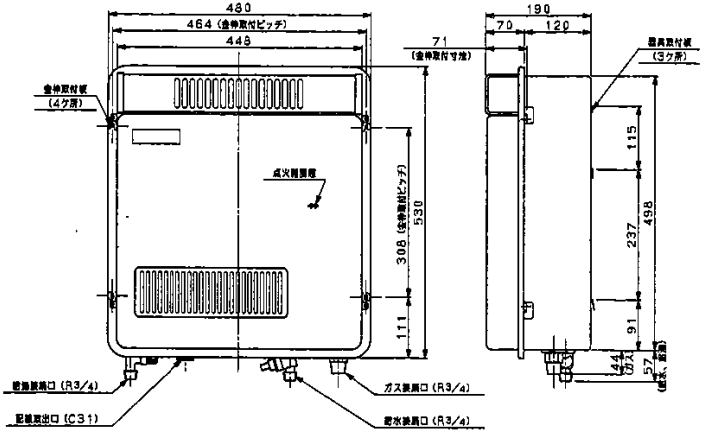
表示例





寸法図





(図は33-641型)

仕様

●仕様表

分類名称		ガス瞬湯器・セントラルタイプ		
商品名		33-641型	33-642型	33-643型
型式名		OUR-16PS	OUR-16PS-T	OUR-16PS-CF
外形寸法		幅480×奥行190×高さ530(mm)		
外装材質		フロントカバー：鋼板塗装仕上げ ケーシング：鋼板塗装仕上げ		
製品重量		17kg		
接続口	ガス	20A(R3/4)		
	給水	20A(R3/4)		
	給湯	20A(R3/4)		
ガス消費量(kcal/h)		最大30,000～最小7,400		最大25,000～最小7,400
能力切換		16号～3.7号		13号～3.7号
能力切換		比例制御方式		
最低作動水圧		0.2kg/cm²		
最低作動水量		3.0ℓ/min		
電気関係	電源	AC100V (50Hz/60Hz)		
	消費電力	45W/53W (50Hz/60Hz)		
	点火方式	連続放電点火方式（ダイレクト点火方式）		
制御装置	ガス	ガス比例制御方式（フィード・バック+フィード・フォワード制御方式）		
	水	水温検知水量制御方式		
安全装置	立消安全装置	フレームロッド		
	流水感知装置	水量センサー		
	ファン回転検出装置	ホールIC		
	空だき過熱防止装置	温度ヒューズ、サーミスタ		
	器体過熱防止装置	温度ヒューズ		
	過圧逃がし装置	ブローバルブ		
	沸とう防止装置	サーミスタ		
	凍結予防装置	サーモ付電気ヒーター		
	排水装置	手動式水抜きせん		
	誘導管保護装置	半導体		
付属部品		機器取付部品、取扱説明書、メインコントローラー式		
別売部品		シャワーコントローラー式		

保管とアフターサービス

●保管(長期間使用しない場合)

●長期間使用しない場合は必ずガス栓・給水栓をしめ、電源プラグをコンセントから抜いてさらに機器の水抜きを行ってください。
●水抜き方法については、P.14「凍結予防のしかた」に従ってください。

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●サービス(点検・修理)を依頼される前に
「故障かな？と思ったら」(P.17・18)の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、もしくは大阪ガスにご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。
1. 品名……ガス湯沸器
2. 品番……機器の前板面に貼付してあります。
3. 現象……できるだけ詳しく。
コントローラーのOKモニター表示番号、機器番号
4. お客様名、住所、電話番号、道順

(例)
(N) 33-641 (U)
大阪ガス株式会社 01

転居されるとき

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

●保証期間中は……
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保障期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後7年間です。